

研究代表者：政策科学科 3 年 丸野 雄一

共同研究者：商学部 3 年 出田 隼也

◆ プロジェクトテーマ

日本の金融リテラシーを高めるために：実証研究に基づく政策提言

◆ 研究目的

金融リテラシー（金融や経済に関する知識や判断力）の獲得・向上について、それを困難なものとしている要因が何かを明らかにし、そうしたハードルを超えるために必要な教育や施策を示すことを本プロジェクトの目的とする。

◆ 結論

大学生に対して金融教育を行うことは効果的であるにも関わらず、国内において大学生向けの統一的な金融教育は行われておらず、各大学の活動に頼る状況となっている。そこで全国の大学生に対してアンケート調査を行い、大学生に対する適切な金融教育について考察した。

アンケート調査の結果、金融リテラシーが高い人は金融教育の受講意欲が高いことが判明した。また、経済への知的好奇心が高いことや計画志向であること等の属性が金融教育の受講意欲に影響を与えることが分かった。逆に、金融教育を避ける人々は、資産形成やお金への関心が低い、時間が無いなどを理由として挙げている事が明らかになった。

以上のことを踏まえて、大学生の金融リテラシーの獲得・向上のために以下の 3 つの政策提言をする。

- ① 属性ごとに分類した教材の作成
- ② 属性を診断するスクリーニングの実施
- ③ 広報活動の強化

①によって個人の属性に応じた適切な金融教育を行うことができ、②によって個人がどの属性であるのか分かる。また、③によって金融教育を避ける人々に対して資産形成やお金への関心を高める狙いがある。

◆ 活動内容

現状分析や先行研究のレビューを行い、それを踏まえて全国の大学生にアンケート調査を実施、結果を分析し論文を執筆した。WEST 論文研究発表会に参加し、財政・金融分科会において分科会賞（財政・金融）を受賞した。